



OASE Operation Autonomy Support Engine Base 【座学】

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

Exastro Operation Autonomy Support Engine Version 1.3.1
Exastro developer

目次

1. はじめに

- 1.1 Base【座学】について
- 1.2 OASE利用設定フロー
- 1.3 OASE作業フロー

2. OASE事前設定フローにおける各画面の説明

- 2.1 権限の設定 [アクセス権限]
- 2.2 権限の設定 [登録情報]
- 2.3 アクション先の設定
- 2.4 ディシジョンテーブルの作成
- 2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル]

3. OASE運用フローにおける各画面の説明

- 3.1 ディシジョンテーブルファイルの作成
- 3.2 ルール登録
- 3.3 ルール判定

1. はじめに



1.1 Base 【座学】について(1/3)

まえがき

- 本稿は、Exastro Operation Autonomy Support Engine (OASE) を利用する上で、基本的な機能の理解を支援するための資料です。
- 実践形式でさらなる知識を深めたい場合は、具体的な手順に沿った資料として< [Exastro OASE Base 【実習】](#) >もありますので、そちらをご参照ください。
- 包括的な内容としては、Exastro OASE の公式マニュアル集である< [OASE docs](#) >をご参照ください。

1.1 Base 【座学】について(2/3)

Baseでは以下の範囲を想定

- 「OASE」と「ITAドライバ」の連携

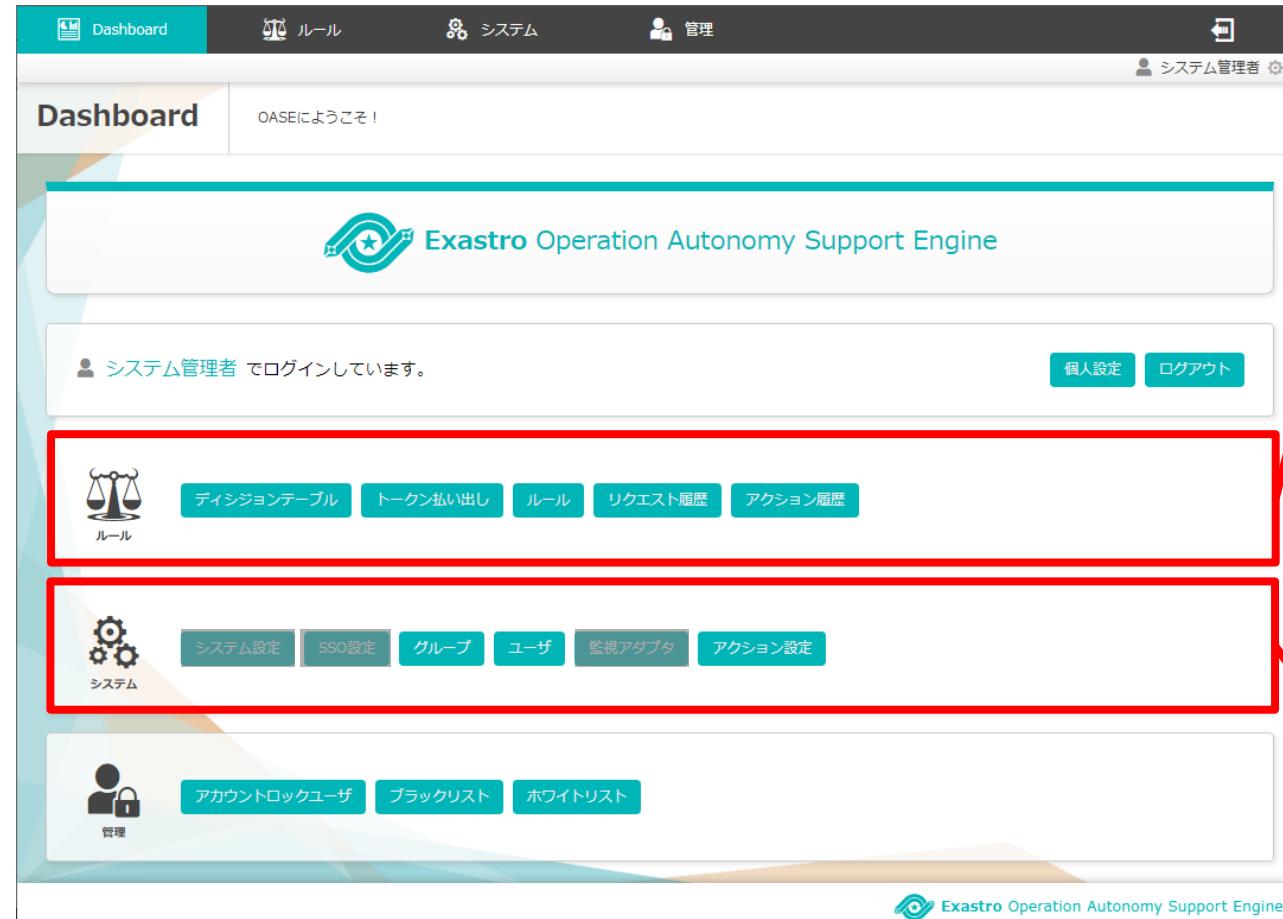


※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

1.1 Base 【座学】について(2/3)

BaseではOASEの以下機能（画面）を用いる

● Dashboard画面



カテゴリ：ルール

画面名称
ディシジョンテーブル
トークン払い出し
ルール
リクエスト履歴
アクション履歴

カテゴリ：システム

画面名称
グループ
ユーザ
アクション設定

1.2 OASE事前設定フロー

初回利用時の設定など基本的に頻度が少ない作業



1.3 OASE運用フロー

運用業務において頻繁に発生する作業



2. OASE事前設定フローにおける各画面の説明

2.1 権限の設定 [アクセス権限] (1/5)

以下、赤枠箇所のフローについて説明



2.1 権限の設定 [アクセス権限] (2/5)

画面へのアクセス権限をグループに対して割り当てる

- アクセス権限は「グループ」画面で設定可能

- 以下画面へのアクセス権限を設定可能

- ディシジョンテーブル
- トークン払い出し
- システム設定
- SSO設定
- グループ
- ユーザ
- アクション設定

- 以下の権限から選択

- 権限無し：画面表示しない
- 参照のみ：画面を表示するが更新不可
- 更新可能：画面表示および更新可能



2.1 権限の設定 [アクセス権限] (3/5)

例 グループ「group_A」、ユーザ「user_A」を作成しアクセス権限を設定する(1/3)

- ① 「システム管理者」でログインし「group_A」を作成
- ② 「group_A」にアクセス権限を設定

The screenshot shows the Exastro UI interface for managing groups and access rights.

Left Panel (Groups List): Shows a list of groups. A red box highlights the entry for 'group_A', which is selected. A red number '1' is placed over this box.

Middle Panel (Access Rights Configuration): A modal window titled '+ アクセス権限' (Add Access Rights) is open. It shows the 'group_A' entry in the '権限の設定' (Permission Settings) section. The main table lists categories like ルール, システム, etc., with various permissions (新規追加, 動能, 排除なし, 参照のみ, 更新可能) indicated by icons. A red box highlights this entire table area. A red number '2' is placed over the top right corner of this box.

Right Panel (Access Rights Summary): A summary table titled 'group_Aのアクセス権限' (Access Rights of group_A) provides a detailed view of the assigned permissions. A red box highlights this table.

画面	権限
ディシジョンテーブル	更新可能
トークン払い出し	更新可能
システム設定	権限なし
SSO設定	権限なし
グループ	参照のみ
ユーザ	参照のみ
アクション設定	参照のみ

2.1 権限の設定 [アクセス権限] (4/5)

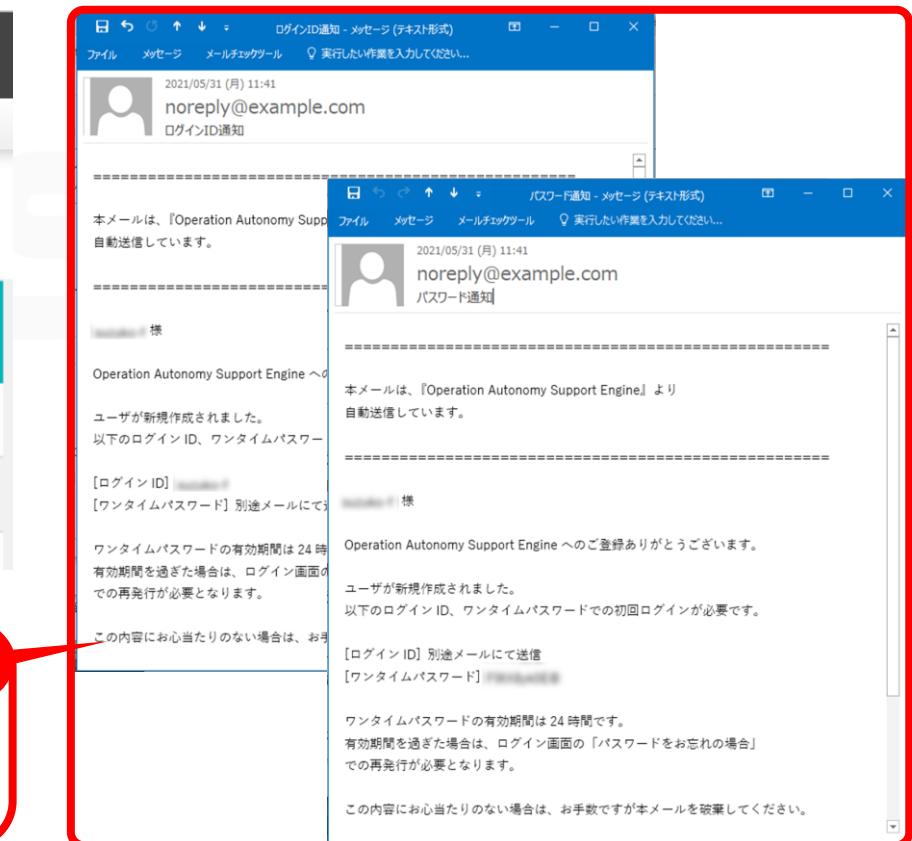
例 グループ「group_A」、ユーザ「user_A」を作成しアクセス権限を設定する(2/3)

- ③ 「user_A」を作成し「group_A」配属とする
- ④ 「user_A」のメールアドレス宛に届いた「ログインID通知」と「パスワード通知」を用いてOASEにログインする

The screenshot shows the 'User' management screen. A red box highlights the 'user_A' row, which has 'userA' in the 'Login ID' column and 'group_A' in the 'Group' column. A red callout bubble labeled '3 user_Aを新規作成' (Create new user user_A) points to the 'userA' entry.

ユーザ名	ログインID	メールアドレス	グループ	最終更新者
システム管理者	administrator	sample@xxx.bbb.ccc	システム管理者	システム管理者
user_A	userA	a0001@example.com	group_A	システム管理者
user_B	userB	b001@example.com	group_B	システム管理者

登録したメールアドレスにメールが送信される。
ユーザ登録時には、受信可能なメールアドレスを登録する。



2.1 権限の設定 [アクセス権限] (5/5)

例 グループ「group_A」、ユーザ「user_A」を作成しアクセス権限を設定する(3/3)

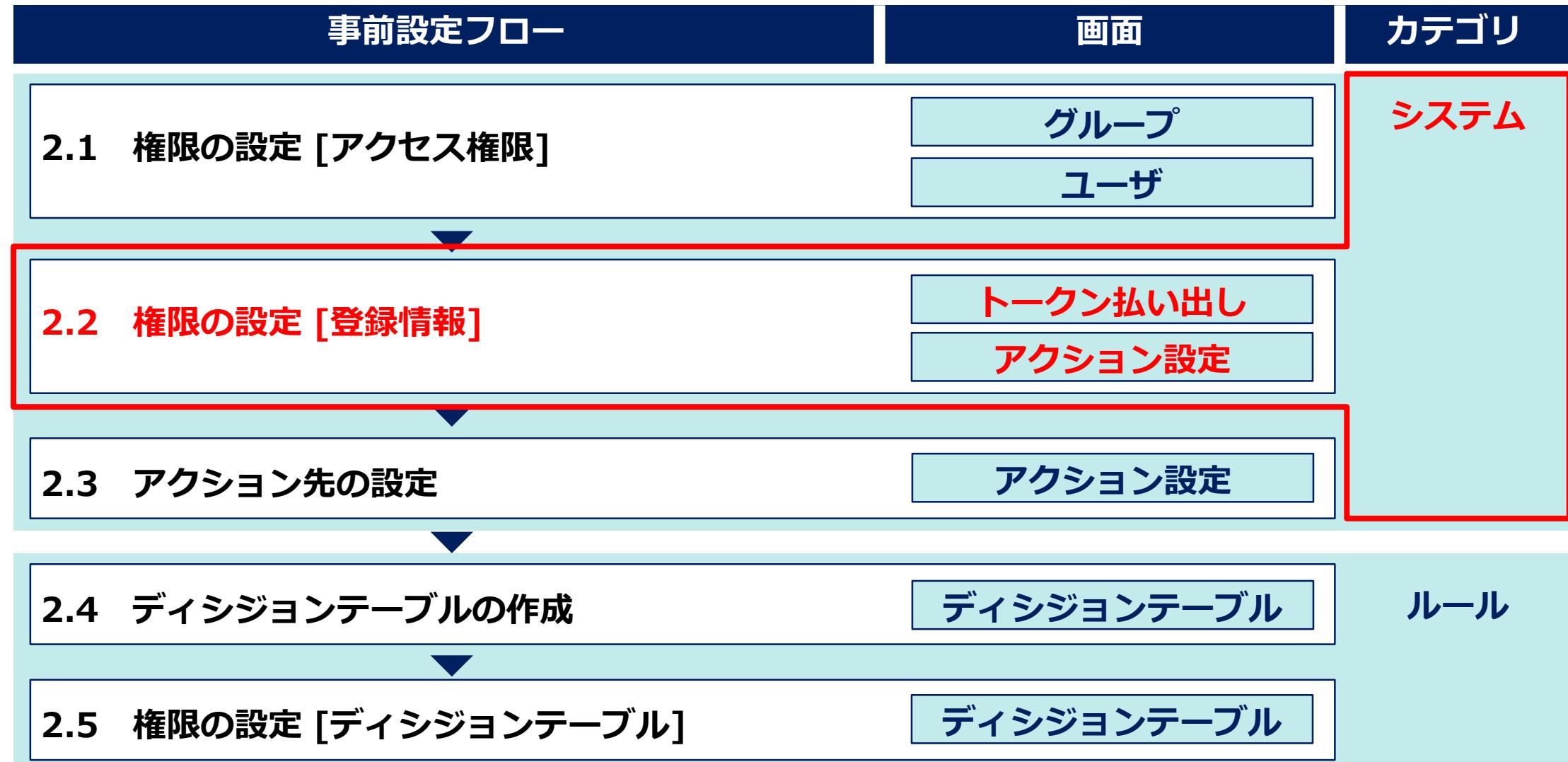
- 「更新可能」、「参照のみ」、「権限なし」の各権限ごとの画面表示は以下のようになる

The image displays four screenshots of the Exastro Operation Autonomy Support Engine interface, illustrating the access rights for group 'group_A' and user 'user_A'.

- Top Left:** Group Management screen. The group 'group_A' is selected. The 'Access Rights' column shows:
 - ルール (Rules): ディシジョンテーブル (Decision Table) has '更新可能' (Updateable), Token Issuance has '更新可能' (Updateable).
 - システム (System): システム設定 (System Settings) and SSO設定 (SSO Settings) both have '権限なし' (No Rights).
 - グループ (Groups): 'グループ' (Groups) has '参照のみ' (View Only).
 - ユーザ (Users): 'ユーザ' (Users) has '参照のみ' (View Only).
 - アクション設定 (Action Settings): All have '参照のみ' (View Only).
- Top Right:** Token Issuance screen. Logged in as 'user_A'. A red box highlights the '新規トークン払い出し' (New Token Issuance) button, which is labeled '更新可能' (Updateable). The table shows a token named 'token_group' issued on May 31, 2021, at 17:06.
- Bottom Left:** User Management screen. Shows a list of users. A red box highlights the '参照のみ (更新ボタン無し)' (View Only, no update button) status for user 'user_A'.
- Bottom Right:** System Dashboard screen. A red box highlights the absence of 'システム設定' (System Settings) and 'SSO設定' (SSO Settings) from the navigation menu, indicating they are not visible to the user.

2.2 権限の設定 [登録情報] (1/4)

以下、赤枠箇所のフローについて説明



2.2 権限の設定 [登録情報] (2/4)

「トークン払い出し」画面について

- 監視アプリケーションから受信したメッセージをルールマッチングするために認証が必要であるため、予めOASEの「トークン払い出し」画面からトークンを発行する

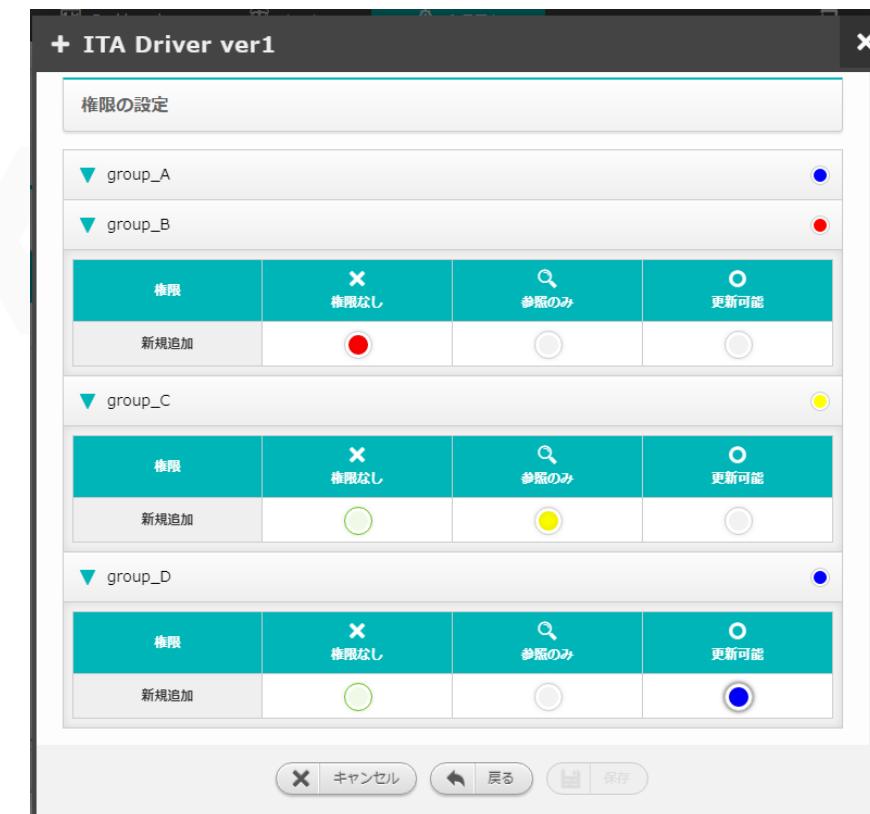


- 後述する「ルール」画面上からのテストリクエスト時はトークン不要
- 払い出したトークンの使用例は以下を参照
[< RestAPI機能 利用マニュアル _1 イベントリクエスト >](#)

2.2 権限の設定 [登録情報] (3/4)

登録情報へのアクセス権限をグループに対して割り当てる

- OASEの各画面に対して「更新可能」のアクセス権限が設定されている場合、情報を登録・更新・削除することが可能
- 登録情報に対する権限を「アクション設定」、「トークン払い出し」の各画面で設定可能
- 以下の権限から選択
 - 権限無し：登録情報を表示しない
 - 参照のみ：登録情報を表示するが更新不可
 - 更新可能：登録情報を表示および更新可能
- 1件も表示できる情報が存在しない場合、「403 Forbidden」画面が表示される



2.2 権限の設定 [登録情報] (4/4)

例 「group_A」は「権限あり」、その他グループは「権限なし」でトークンを払い出し

- 「group_A」に所属するユーザ「user_A」からのみトークンを表示・操作することが可能

「group_A」「group_B」
「group_C」「group_D」
に所属するユーザでトークン払い出し

新規トークン払い出し

トークン情報

トークン名 *	token_group_A
有効期限	有効期限（未入力の場合は期限なし）

グループ別権限

グループ名	権限なし	権限あり
group_A	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
group_B	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
group_C	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
group_D	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

キャンセル トークン払い出し

「group_A」に所属するユーザでログイン

トーカン払い出し

操作	トークン名	利用開始日	利用終了日	最終更新者	最終更新日時
	token_group_A	2021年 06月 01日 14:59			2021年 06月 01日 14:59

新規トークン払い出し

参照および更新可能

「group_C」に所属するユーザでログイン

403 Forbidden

このページを表示する権限がありません。

参照権限なし

2.3 アクション先の設定 (1/4)

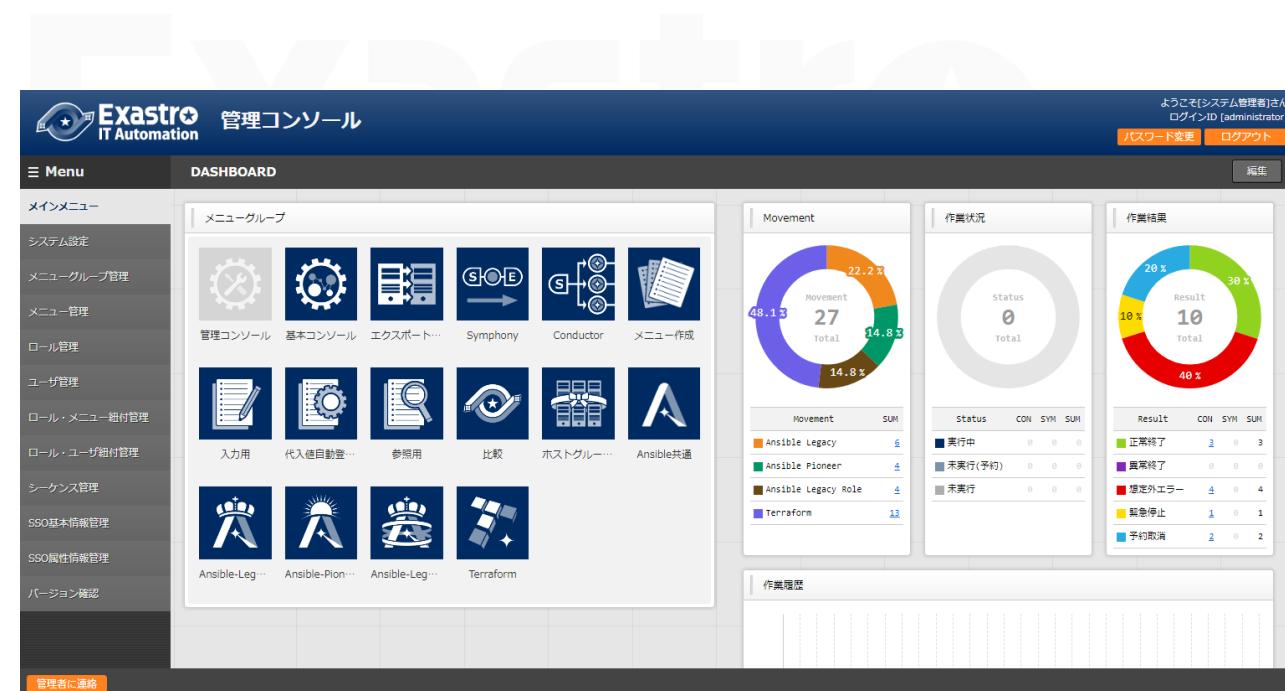
以下、赤枠箇所のフローについて説明



2.3 アクション先の設定 (2/4)

連携先となるITAを確認する

- 連携ソフトウェアの対象に「ITAドライバ」を使用するため、連携先となるITAが存在していることを確認する
 - 連携できるITAがない場合はインストールを実施、ITAにログインできることを確認する
 - ITAのインストールからログインまでは以下を参照
- <[IT Automationオンラインインストール](#)>



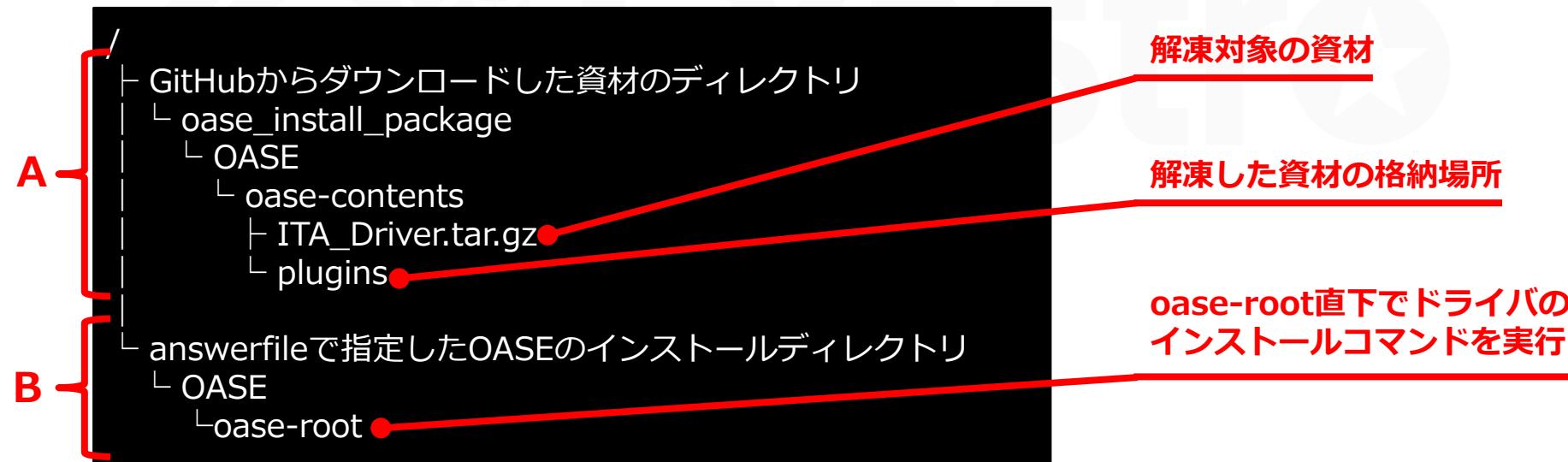
2.3 アクション先の設定 (3/4)

連携ソフトウェアドライバとして「ITAドライバ」を導入する

- OASEへITAドライバをインストールする

- GitHubからダウンロードしたインストーラーの「oase-contents」配下にある資材を解凍する
- 解凍した資材を用いて、インストールしたOASE側でドライバのインストールコマンドを実行する

※AとBの階層が異なることに留意



- ドライバインストールについては<[環境構築マニュアル - ドライバインストール編](#)>を参照

2.3 アクション先の設定 (4/4)

「ITAドライバ」と連携するための情報をOASEに登録する

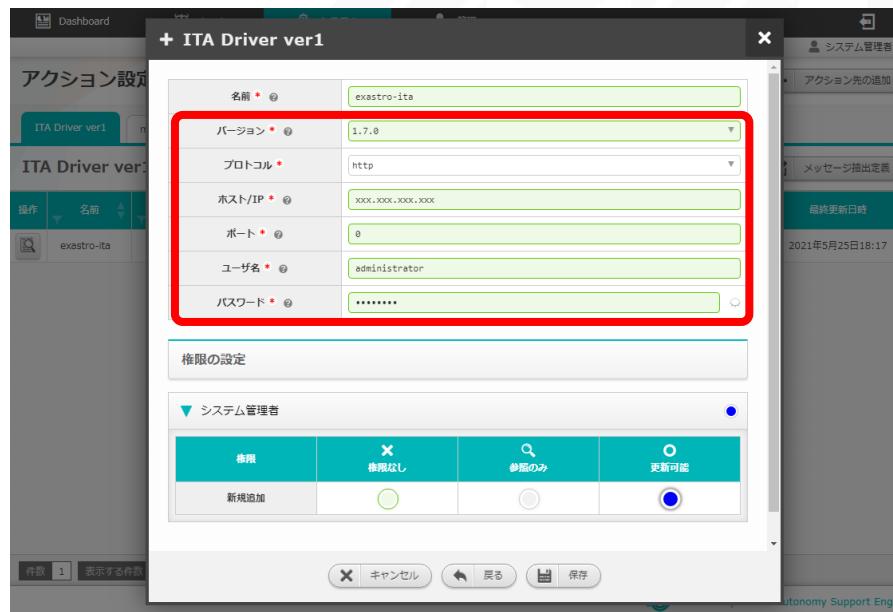
- アクション先としてITAドライバの追加を実行する

- OASEの「アクション設定」画面で設定する
- 連携したいITAの情報を登録する

例) ITAのバージョン、ホスト名/IPアドレス、ポート、ログインするユーザ名とパスワードなど

※設定の保存時には接続可能かの簡易チェックが行われる

OASEの「アクション設定」画面



項目名	設定値
名前	ITAの環境名など
バージョン	ITAのバージョンを選択
プロトコル	ITAのAPIにアクセスのためのプロトコルを選択 (http or https)
ホスト/IP	ITAのホスト名 or IPアドレスを入力
ポート	ITAのAPI接続に使用するポート番号を入力
ユーザ名	ITAのAPI利用時のユーザ名を入力
パスワード	上記ユーザのパスワードを入力

2.4 ディシジョンテーブルの作成 (1/6)

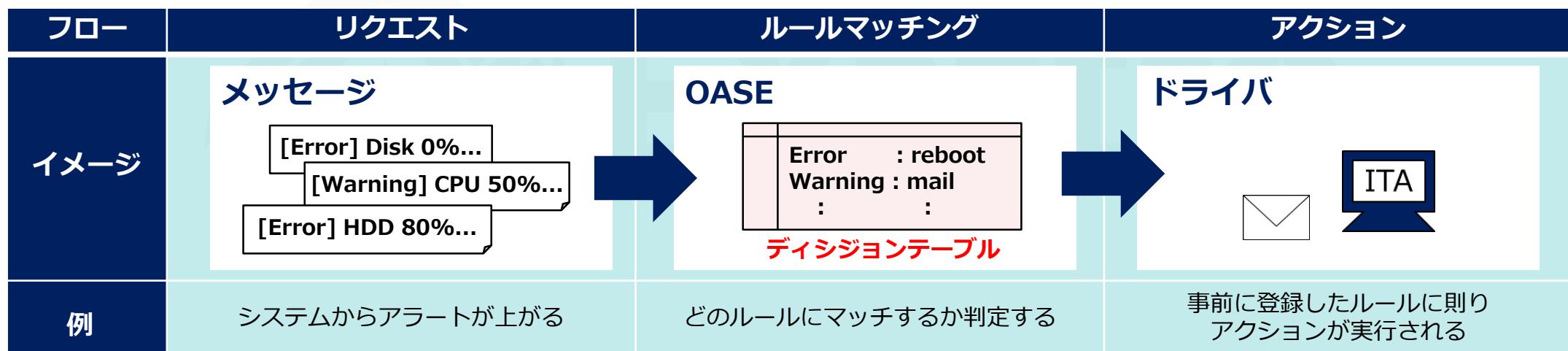
以下、赤枠箇所のフローについて説明



2.4 ディシジョンテーブルの作成（2/6）

ディシジョンテーブルについて

- OASEはディシジョンテーブルを内包している
 - ・ディシジョンテーブル：ルールリスト
 - ・ルール：ディシジョンテーブルの1行ごとに定義したもの
 - ・ルールエンジン：事前に登録されたルールに則り判断を行うもの



- 以下はルールの例であり、ディシジョンテーブルでこれらを定義することができる
 - アラートレベル「Error」、かつ、対象「HDD」を含むメッセージを受け取った場合、アクションAを実行
 - アラートレベル「Warning」、かつ、対象「CPU」を含むメッセージを受け取った場合、アクションBを実行

2.4 ディシジョンテーブルの作成（3/6）

「ディシジョンテーブル」画面で操作する（1/3）

- ディシジョンテーブルを管理するために各情報の登録が必要
- 「基本情報・権限」タブ
 - ディシジョンテーブル名
 - OASEで管理するうえでの名称を登録する
 - ディシジョンテーブルは各画面で登場するため、任意で名称をつけ管理把握できるようにする



- 権限の設定
 - OASEで管理するうえで、グループごとに権限を設定することが可能
(詳細は後述の「[2.5 権限の設定 \[ディシジョンテーブル\]](#)」を参照)

2.4 ディシジョンテーブルの作成 (4/6)

「ディシジョンテーブル」画面で操作する (2/3)

- 「条件式」タブ

- 条件名、条件式を記述してルールを作成する

- 例) アラートレベル「Error」、かつ、対象「HDD」を含むメッセージの場合、アクションAを実行

この部分をルールにおける「条件」としたい

ディシジョンテーブル画面の
「条件式」タブで設定する

ルールマッチ後のアクションに
ついては、後述する「ディシ
ジョンテーブルファイル」で記
述していく



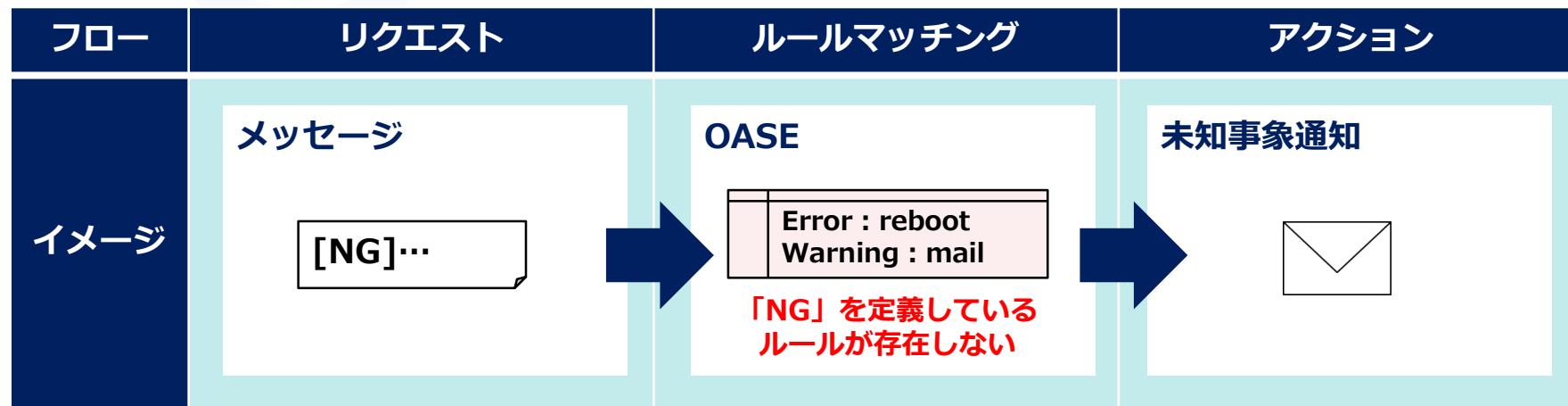
条件に対して投入されるメッセージ
(「Error」や「HDD」)については、
後述する「ディシジョンテーブル
ファイル」で具体的なルールを記述
していく

- 作成したルールが有効か否かについては、後述するテ스트リクエストで確認可能

2.4 ディシジョンテーブルの作成（5/6）

「ディシジョンテーブル」画面で操作する（3/3）

- 「未知事象通知」タブ
 - ・「メールで通知する」を選択することで、未知事象が発生した場合メールで通知するよう設定することが可能
- 「既知事象」と「未知事象」
 - ・既知事象：ルールとして定義できており、アクションも定義できている事象のこと
 - ・未知事象：既知事象として定義していない事象のこと
- 例 「メールで通知する」を設定した状態で、ルールとして定義していない「NG」というメッセージを受け取った場合



2.4 ディシジョンテーブルの作成 (6/6)

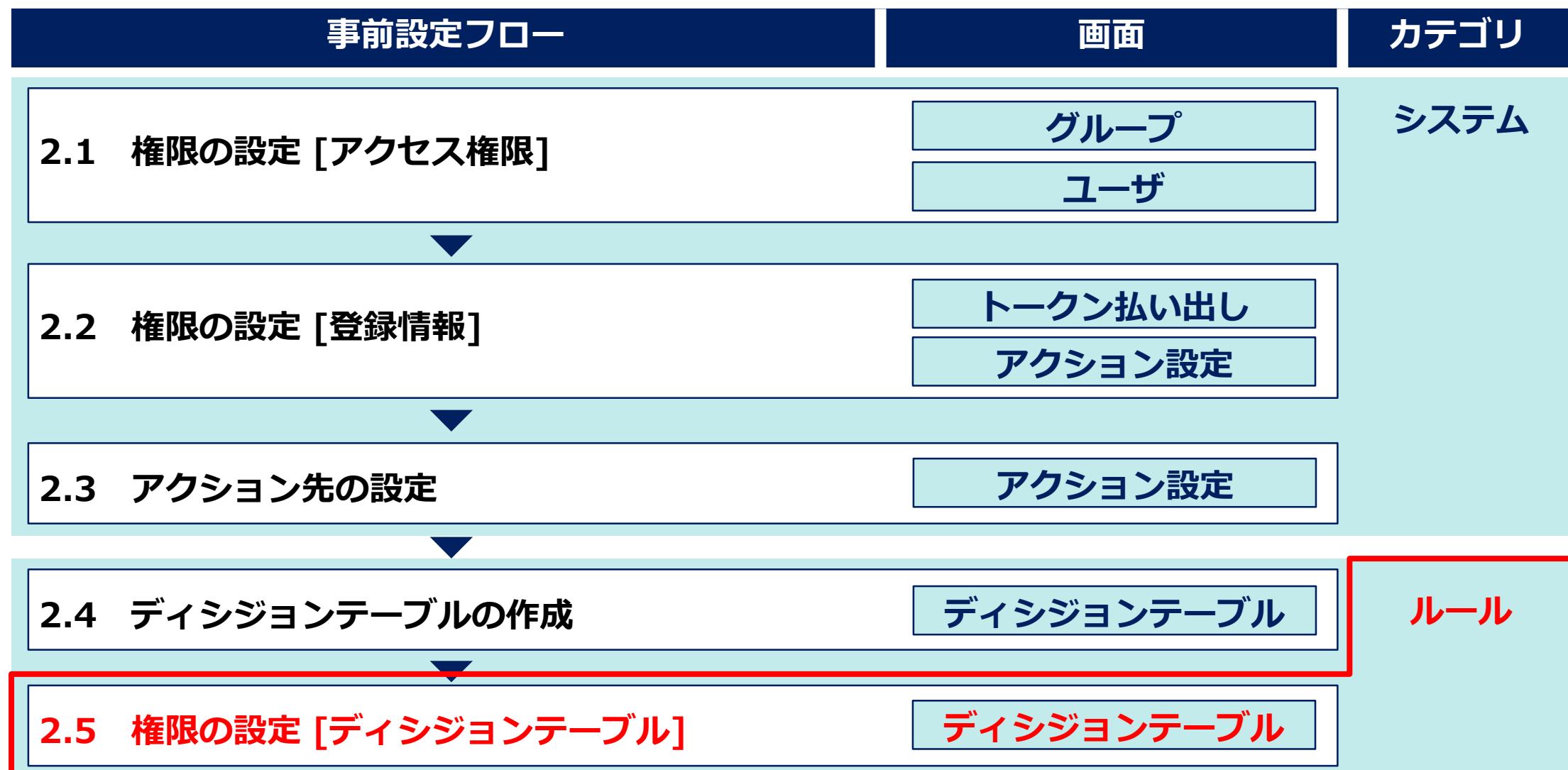
注意事項

- ディシジョンテーブルの最大作成可能数は環境によって変動する
- 4件を目安とし、必要に応じて削除する
- 作成可能数を超えた場合、エラーが発生する可能性があることに留意
- エラーが発生した場合は以下を参照する
[< 環境構築マニュアル -基本編- 4. 注意事項 >](#)



2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (1/12)

以下、赤枠箇所のフローについて説明



2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (2/12)

ディシジョンテーブルに対する権限を設定することが可能

- ディシジョンテーブルに対する権限は「ディシジョンテーブル」画面で設定可能
- 以下の権限から選択
 - ・権限無し：対象のディシジョンテーブルを表示しない
 - ・参照のみ：対象のディシジョンテーブルを表示するが操作が限定される
 - ・更新可能：対象のディシジョンテーブルの表示、編集、処理、実行が可能



2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (3/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (1/10)

- ① ディシジョンテーブルの権限ではない箇所については条件をそろえるため、システム管理者でログインし「グループ」画面にて「group_A」「group_B」「group_C」「group_D」を作成、各グループのアクセス権限をすべて「更新可能」に設定

「システム管理者」でログインして設定

権限	グループ名	概要	最終更新者	最終更新日時
システム管理者	システム管理者	システム管理用の全権限を持つ	システム管理者	2019年7月1日0:00
SSOデフォルトグループ	SSOユーザーの初回ログイン時に自動割り当てされるグループ	システム管理者	システム管理者	2019年7月1日0:00
group_A	group_A	システム管理者	システム管理者	2021年6月3日11:54
group_B	group_B	システム管理者	システム管理者	2021年6月3日11:56
group_C	group_C	システム管理者	システム管理者	2021年6月3日12:17
group_D	group_D	システム管理者	システム管理者	2021年6月3日12:17

group_A

group_B

group_C

group_D

カテゴリ	画面	機能	アクセス権限
ルール	ディシジョンテーブル	新規追加	<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	トークン払い出し		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
システム設定			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
SSO設定			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
グループ	group_A	新規追加	<input checked="" type="radio"/> 更新可能
ユーザ			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
アクション設定			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
ルール	ディシジョンテーブル	新規追加	<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	トークン払い出し		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
システム設定			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
SSO設定			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
グループ	group_B	新規追加	<input checked="" type="radio"/> 更新可能
ユーザ			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
アクション設定			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
ルール	ディシジョンテーブル	新規追加	<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	トークン払い出し		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
システム設定			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
SSO設定			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
グループ	group_C	新規追加	<input checked="" type="radio"/> 更新可能
ユーザ			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
アクション設定			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
ルール	ディシジョンテーブル	新規追加	<input checked="" type="radio"/> 更新可能
	トークン払い出し		<input checked="" type="radio"/> 更新可能
システム設定			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
SSO設定			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
グループ	group_D	新規追加	<input checked="" type="radio"/> 更新可能
ユーザ			<input checked="" type="radio"/> 更新可能
アクション設定			<input checked="" type="radio"/> 更新可能

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (4/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (2/10)

- ② 「ユーザ」画面にてユーザ「user_A」「user_B」「user_C」「user_D」「master」を作成
- ③ 「user_A」は「group_A」に、「user_B」は「group_B」に、「user_C」は「group_C」に、「user_D」は「group_D」に、「master」は「group_A」「group_B」「group_C」「group_D」に所属するよう設定

The screenshot shows a user management interface with the following columns: ユーザ名 (User Name), ログインID (Login ID), メールアドレス (Email Address), グループ (Group), and 最終更新者 (Last Updated By). A red box highlights the last four rows of the table, which correspond to the users created in the task list.

ユーザ名	ログインID	メールアドレス	グループ	最終更新者
システム管理者	administrator	sample@xxx.bbb.ccc	システム管理者	システム管理者 2021年5月21日11:52
user_A	userA	a0001@example.com	group_A	システム管理者 2021年5月31日11:40
user_B	userB	b001@example.com	group_B	システム管理者 2021年5月31日11:40
user_C	userC	c001@example.com	group_C	システム管理者 2021年5月31日11:40
user_D	userD	d001@example.com	group_D	システム管理者 2021年5月31日11:40
master	master		group_A group_B group_C group_D	システム管理者 2021年6月3日17:19

「システム管理者」で
ログインして設定

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (5/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (3/10)

- ④ ユーザ「master」でログインし「ディシジョンテーブル」画面にて、ディシジョンテーブル「master_decision_table」を作成し各グループに対して以下の権限を設定

The screenshot shows the 'Decision Table' configuration dialog with the 'Permissions' tab selected. It displays a grid of permissions for four groups: group_A, group_B, group_C, and group_D.

Category	画面	機能	権限なし	参照のみ	更新可能
ルール	ディシジョンテーブル	編集・削除	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		ステーシング環境	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		プロダクション環境	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		リクエスト履歴	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		アクション履歴	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
システム	監視アダプタ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

Legend for permissions:

- group_A: 更新可能 : ディシジョンテーブル、ルール（ステーシング）
参照のみ : ルール（プロダクション）、リクエスト履歴
権限なし : アクション履歴、監視アダプタ
- group_B: すべて「参照のみ」
- group_C: すべて「権限なし」
- group_D: すべて「更新可能」

作成したユーザ「master」でログインして設定

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (6/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (4/10)

- ディシジョンテーブル「master_decision_table」への権限は以下の通り

ユーザ	画面 ディシジョン テーブル	ルール		リクエスト履歴	アクション履歴	監視アダプタ
		ステージング	プロダクション			
① master	作成、複製、削除、編集、ダウンロード可能	アップロードおよびテス トリクエスト可能	適用ボタン有効、プロ ダクション適用可能	参照可	参照および 操作可	参照可
② user_A	複製、削除、編集、ダ ウンロード可能	アップロードおよびテ ストリクエスト可能	適用ボタン無し、適用 不可	参照可	参照不可	参照不可
③ user_B	複製、ダウンロード可 能	アップロード不可、テ ストリクエスト可	適用ボタン無し、適用 不可	参照可	参照可	参照不可
④ user_C				参照不可		
⑤ user_D	複製、削除、編集、ダ ウンロード可能	アップロードおよびテ ストリクエスト可能	適用ボタン有効、プロ ダクション適用可	参照可	参照および 操作可	参照可
⑥ システム 管理者				参照不可		

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (7/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (5/10)

- ユーザ「master」における画面表示は以下の通り

画面	ユーザ	ディシジョン テーブル		ルール	リクエスト履歴	アクション履歴	監視アダプタ
		ステージング	プロダクション				
①	master	作成、複製、削除、編集、ダウンロード可能	アップロードおよびテ ストリクエスト可能	適用ボタン有効、プロ ダクション適用可能	参照可	参照および 操作可	参照可

The screenshot displays several windows from the Exastro Operation Autonomy Support Engine:

- ディシジョンテーブル詳細**: Shows basic information and permissions for the 'master_decision_table'. Permissions are shown for groups A, B, C, and D. A red box highlights the bottom toolbar with icons for save, copy, delete, edit, and download.
- ルール**: Two tabs are visible: 'ステージング' and 'プロダクション'. The 'ステージング' tab shows a table with columns: 操作, ディシジョンテーブル名, ルールファイル, 適用ステータス, 作業ステータス, 最終更新者, and 最終更新日時. A red box highlights the '操作' column. The 'プロダクション' tab shows a similar table.
- リクエスト履歴**: Shows a table of requests with columns: 操作, ディシジョンテーブル名, ルール名, アクション履歴, and 結果. A red box highlights the '操作' column.
- アクション履歴**: Shows a table of actions with columns: 操作, ディシジョンテーブル名, ルール名, アクション履歴, and 結果. A red box highlights the '操作' column.
- ZABBIX Adapter ver1**: A configuration form for a Zabbix adapter. It includes fields for Name, Protocol (http), Host/IP, Port (80), Username, Password, and Decision Table Selection. The 'Decision Table Selection' dropdown is highlighted with a red box.

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (8/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (6/10)

- ユーザ「user_A」における画面表示は以下の通り

画面 ユーザ	ディシジョン テーブル	ルール		リクエスト 履歴	アクション 履歴	監視 アダプタ
		ステージング	プロダクション			
② user_A	複製、削除、編集、ダウンドロード可能	アップロードおよびテ ストリクエスト可能	適用ボタン無し、適用 不可	参照可	参照不可	参照不可

The screenshot displays the Exastro Operation Autonomy Support Engine interface with four main panels:

- Decision Table Detail:** Shows basic information like the decision table name (master_decision_table) and its status (active). It includes a permissions section for group_A and a toolbar with buttons for copy, edit, delete, and download.
- Rule List:** Displays two sections: "Staging Application Rules" and "Production Application Rules". Both sections show a table with columns: Operation, Decision Table Name, Rule File, Status, Status, and Last Update Date. The "Staging Application Rules" table has one entry for master_decision_table with a status of "Applied". The "Production Application Rules" table also has one entry for master_decision_table with a status of "Production Applied".
- Request History:** Shows a list of requests, all of which are successful (green checkmark).
- Action History:** Shows a list of actions, all of which are pending (yellow exclamation mark).
- ZABBIX Adapter ver1 Configuration:** A modal dialog for configuring a Zabbix adapter. It includes fields for Name, Protocol (http), Host/IP, Port (80), Username, Password, and a dropdown for the decision table name. The "Decision Table Name" dropdown is highlighted with a red box, and a tooltip message "Decision Table Name selection is required." is shown below it.

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (9/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (7/10)

- ユーザ「user_B」における画面表示は以下の通り

画面 ユーザ	ディシジョン テーブル	ルール		リクエスト 履歴	アクション 履歴	監視 アダプタ
		ステージング	プロダクション			
③ user_B	複製、ダウンロード可能	アップロード不可、テ ストリクエスト可	適用ボタン無し、適用 不可	参照可	参照可	参照不可

The screenshot displays several windows from the Exastro Operation Autonomy Support Engine:

- Decision Table Detail**: Shows basic information like name (master_decision_table) and a permissions section for group_B.
- Stage Application Rule**: A modal dialog for "exastro-case" asking to confirm rule_type.name=master_decision_table.
- Production Application Rule**: Shows rules for master_decision_table.
- User Request History**: Shows history for user_B.
- Action History**: Shows history for user_B.
- Zabbix Adapter Configuration**: A configuration dialog for ZABBIX Adapter ver1, with a red box highlighting the "Decision Table Name Selection" dropdown.

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (10/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (8/10)

- ユーザ「user_C」における画面表示は以下の通り

画面	ディシジョン テーブル	ルール	リクエスト 履歴	アクション 履歴	監視 アダプタ
ユーザ		ステージング プロダクション			
④ user_C			参照不可		

The screenshot displays several panels of the Exastro Operation Autonomy Support Engine interface:

- Top Navigation Bar:** Includes links for Dashboard, Rules, Systems, and a user icon for 'user_C'.
- Left Sidebar:** Shows navigation links for 'Dashboard', 'Rules', 'Systems', and 'User' (selected).
- Central Panels:**
 - ディシジョンテーブル (Decision Table) Panel:** Displays a message: "ディシジョンテーブルが存在しません。権限がある場合は、[新規追加]をクリックするとディシジョンテーブルを作成できます。"
 - ルール (Rules) Panel:** Sub-sections for "ステージング適用ルール" and "プロダクション適用ルール", both showing "対象データがありません" (No target data).
 - リクエスト履歴 (Request History) Panel:** Displays a message: "リクエスト履歴はありません。"
 - アクション履歴 (Action History) Panel:** Displays a message: "アクション履歴はありません。"
- Right Side Panel:** A modal dialog titled "監視アダプタ" (Monitoring Adapter) for "ZABBIX Adapter ver1". It includes fields for:
 - 名前 (Name): test
 - プロトコル (Protocol): http
 - ホスト/IP (Host/IP): 300x,300x,300x,300x
 - ポート (Port): 80
 - ユーザー名 (Username): name
 - パスワード (Password): *****
 - ディシジョンテーブル名 (Decision Table Name): (This field is highlighted with a red box.)
 - 説明 (Description): "ディシジョンテーブル名を選択してください。" (Please select a Decision Table name.)

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (11/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (9/10)

- ユーザ「user_D」における画面表示は以下の通り

画面 ユーザ	ディシジョン テーブル	ルール		リクエスト 履歴	アクション 履歴	監視 アダプタ
		ステージング	プロダクション			
⑤ user_D	複製、削除、編集、ダウロード可能	アップロードおよびテ ストリクエスト可能	適用ボタン有効、プロ ダクション適用可	参照可	参照および 操作可	参照可

The screenshot displays several windows from the Exastro Operation Autonomy Support Engine:

- Decision Table Detail**: Shows basic information like the table name (master_decision_table) and its status (active). A red box highlights the bottom navigation bar with icons for save, copy, delete, edit, and download.
- Stage Rule Application Log**: Shows a log of rule application for the master_decision_table. A red box highlights the "Stage Rule Application" button.
- Action Rule Application Log**: Shows a log of action rule application for the master_decision_table. A red box highlights the "Action Rule Application" button.
- ZABBIX Adapter Configuration**: A configuration dialog for the ZABBIX Adapter version 1. It includes fields for Name, Protocol (http), Host/IP, Port, Username, Password, and a dropdown for the Decision Table (master_decision_table). A red box highlights the "Decision Table" dropdown.

2.5 権限の設定 [ディシジョンテーブル] (12/12)

例 各権限を持つユーザを用意しディシジョンテーブル周りの表示を確認する (10/10)

- ユーザ「システム管理者」における画面表示は以下の通り

画面	ディシジョン テーブル	ルール	リクエスト 履歴	アクション 履歴	監視 アダプタ
ユーザ		ステージング プロダクション			
⑥ システム 管理者			参照不可		

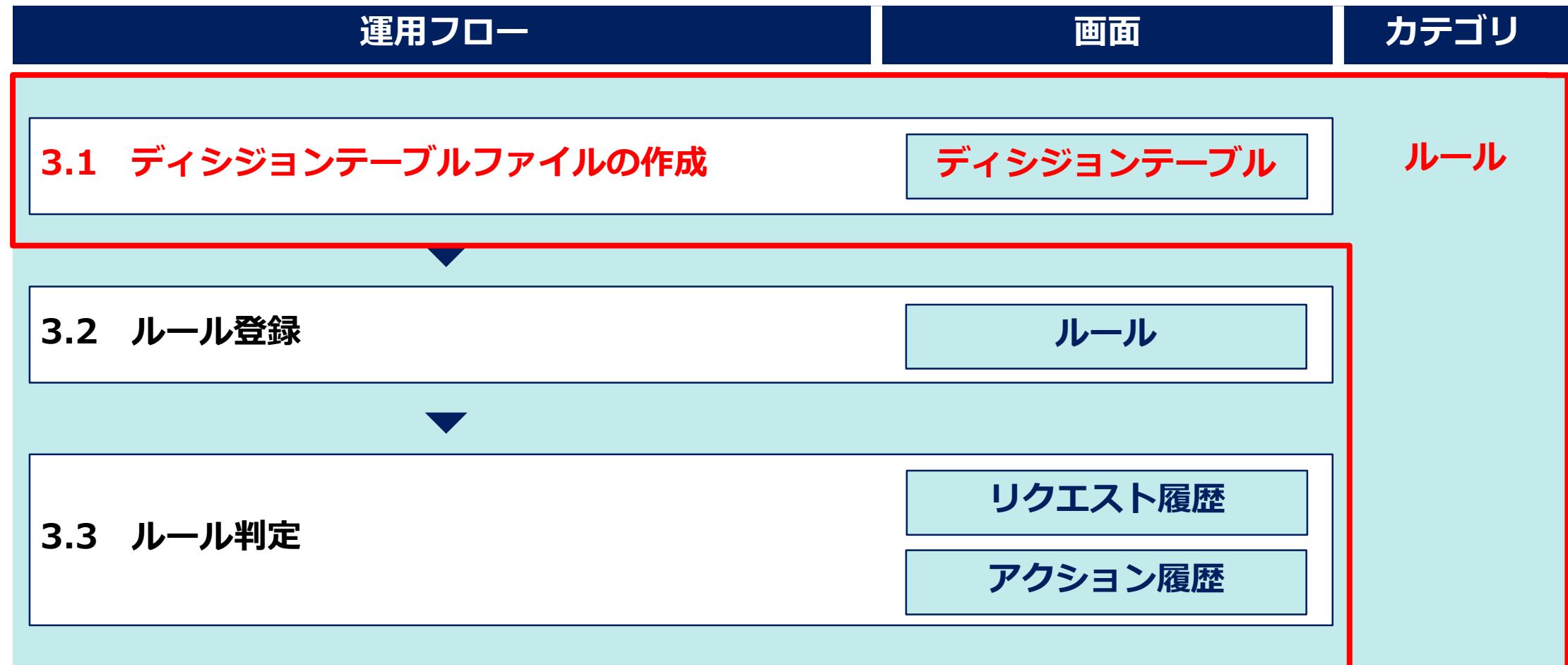
The screenshot displays several views of the Exastro Operation Autonomy Support Engine:

- Top Navigation:** Dashboard, ルール (Rules), システム (System), Management (管理), ユーザ (User).
- Left Sidebar:** ディシジョンテーブル (Decision Table) - Shows a message: "ディシジョンテーブルが存在しません。権限がある場合は、[新規追加]をクリックするとディシジョンテーブルを作成できます。".
- Middle Section:**
 - ルール (Rules) View:** Sub-sections: ステージング適用ルール (Stage Application Rules) and プロダクション適用ルール (Production Application Rules). Both show a message: "対象データがありません。".
 - リクエスト履歴 (Request History) View:** Shows a message: "リクエスト履歴はありません。"
 - アクション履歴 (Action History) View:** Shows a message: "アクション履歴はありません。"
- Right Section:** 監視アダプタ (Monitoring Adapter) configuration dialog for "ZABBIX Adapter ver1". Fields include:
 - 名前: test
 - プロトコル: http
 - ホスト/IP: XXX.XXX.XXX.XXX
 - ポート: 80
 - ユーザ名: name
 - パスワード: (redacted)
 - ディシジョンテーブル名選択: (highlighted with a red box)
 - 説明: "ディシジョンテーブル名を選択してください。"

3. OASE運用フローにおける各画面の説明

3.1 ディシジョンテーブルファイルの作成 (1/2)

以下、赤枠箇所の操作について説明



3.1 ディシジョンテーブルファイルの作成 (2/2)

具体的なルールを記述する

- リクエストされたメッセージをどのように判断し処理するかルールを記述する

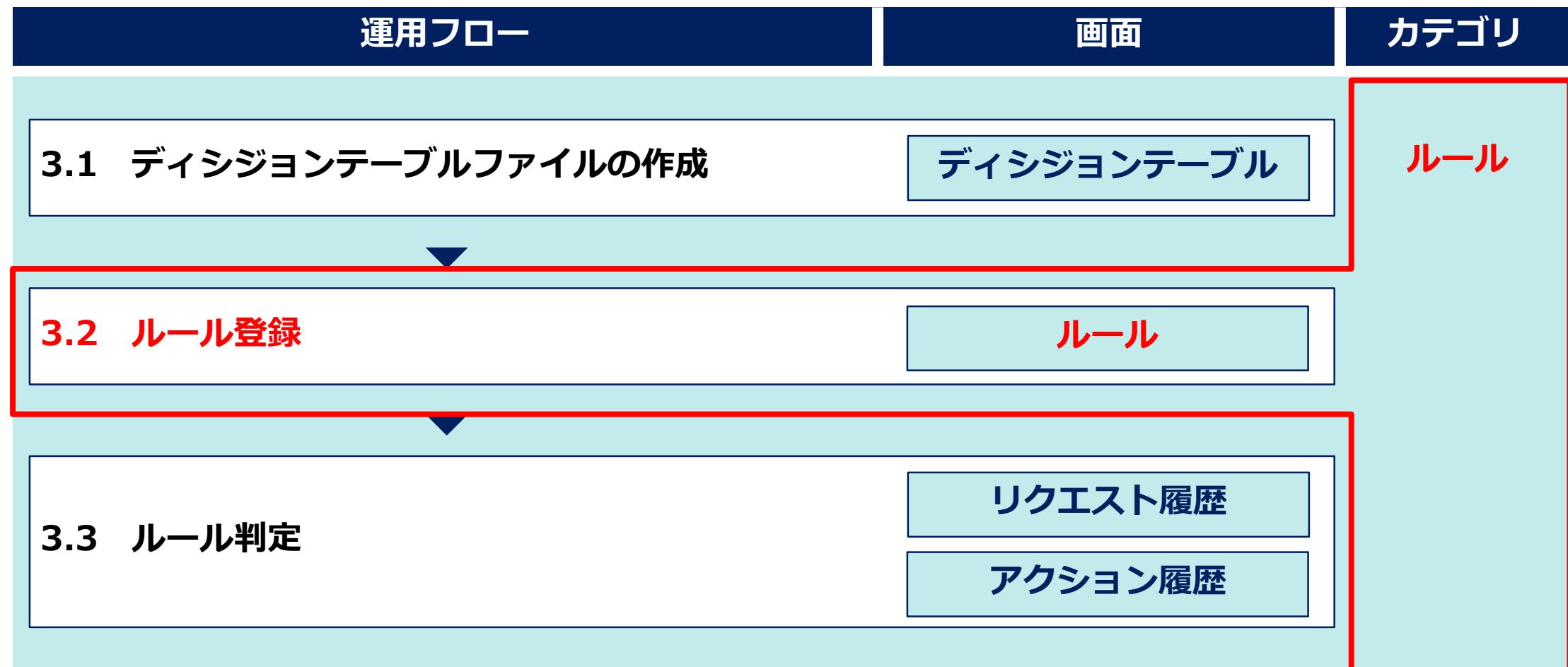
- コメント部 : ルールの説明など、任意の文章の記述が可能
- 条件部 : 「条件式」に合うよう具体的な条件を記述する
- アクション部 : ルールマッチ後のアクションについて設定する
- アクション条件部 : ルールの有効日および無効日について任意で設定する

	A	C	D	E	R	S	T
1	ルール説明	アラートレベル(含む)	対象(含む)	ルール名 (必須)	優先順位 (有効日	無効日
11	ITA実行	Error	HDD	rule_Error	X		
12	メール通知	Warning	HDD	rule_Warning	X		
13							
14							

上記のディシジョンテーブルファイルに["Error","HDD"]というメッセージがリクエストされた場合、条件部 「アラートレベル : Error」「対象 : HDD」 に合致するため、ルール名「rule_Error」がマッチする

3.2 ルール登録 (1/4)

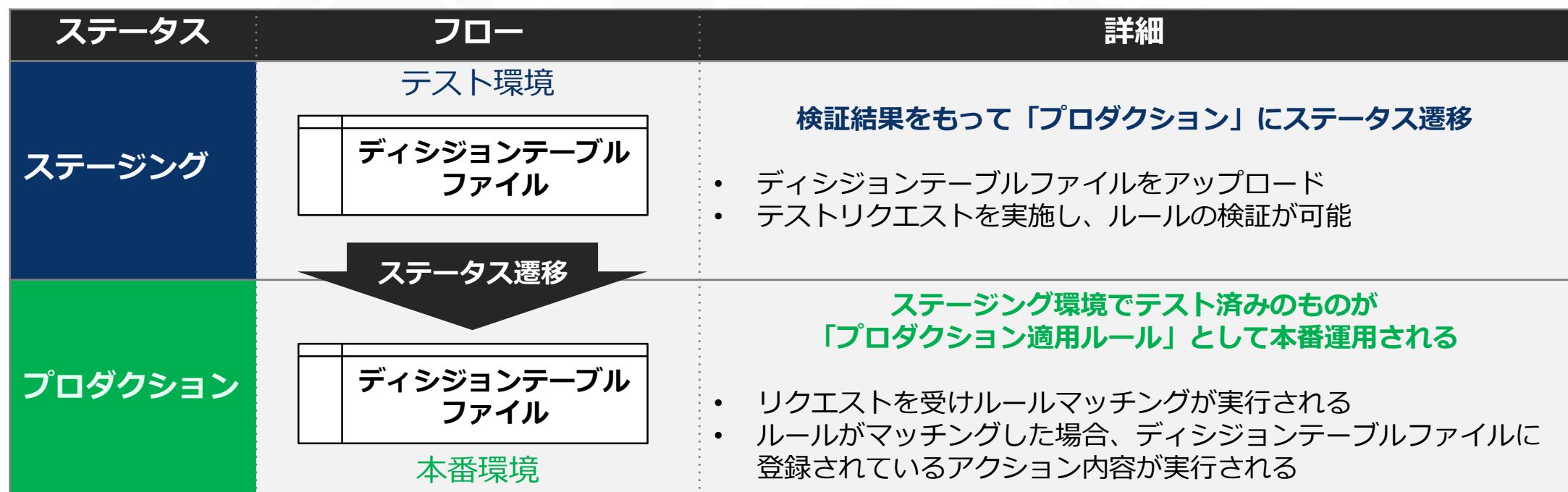
以下、赤枠箇所の操作について説明



3.2 ルール登録 (2/4)

「ステージング」と「プロダクション」

- ルールを本番環境で運用する前に、ステージング環境でテストリクエストすることが可能
- ルールを検証し問題がなければ、プロダクション適用にステータスを遷移させ本番環境で使用する（検証段階ではアクションは実行されない）
- プロダクション適用ルールに該当するメッセージがOASEに投入された場合、ルールマッチングののちアクションが実行される

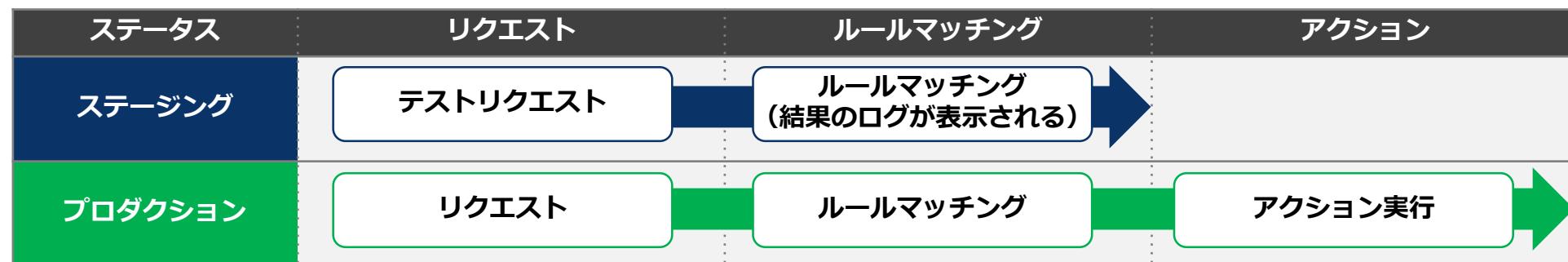


3.2 ルール登録 (3/4)

作成したルールを「ステージング」環境でテストする

● ステージング

- ・ステージング環境では、作成したルールに対しテストでリクエストを実行
- ・ルールがマッチングした場合でもテストリクエストではアクションは実行されない



- ・例として、"アラートレベル「Error」、かつ、対象「HDD」を含むメッセージを受け取った場合、アクションAを実行"というルールをテストリクエストした場合



3.2 ルール登録 (4/4)

テストしたルールを本番利用する

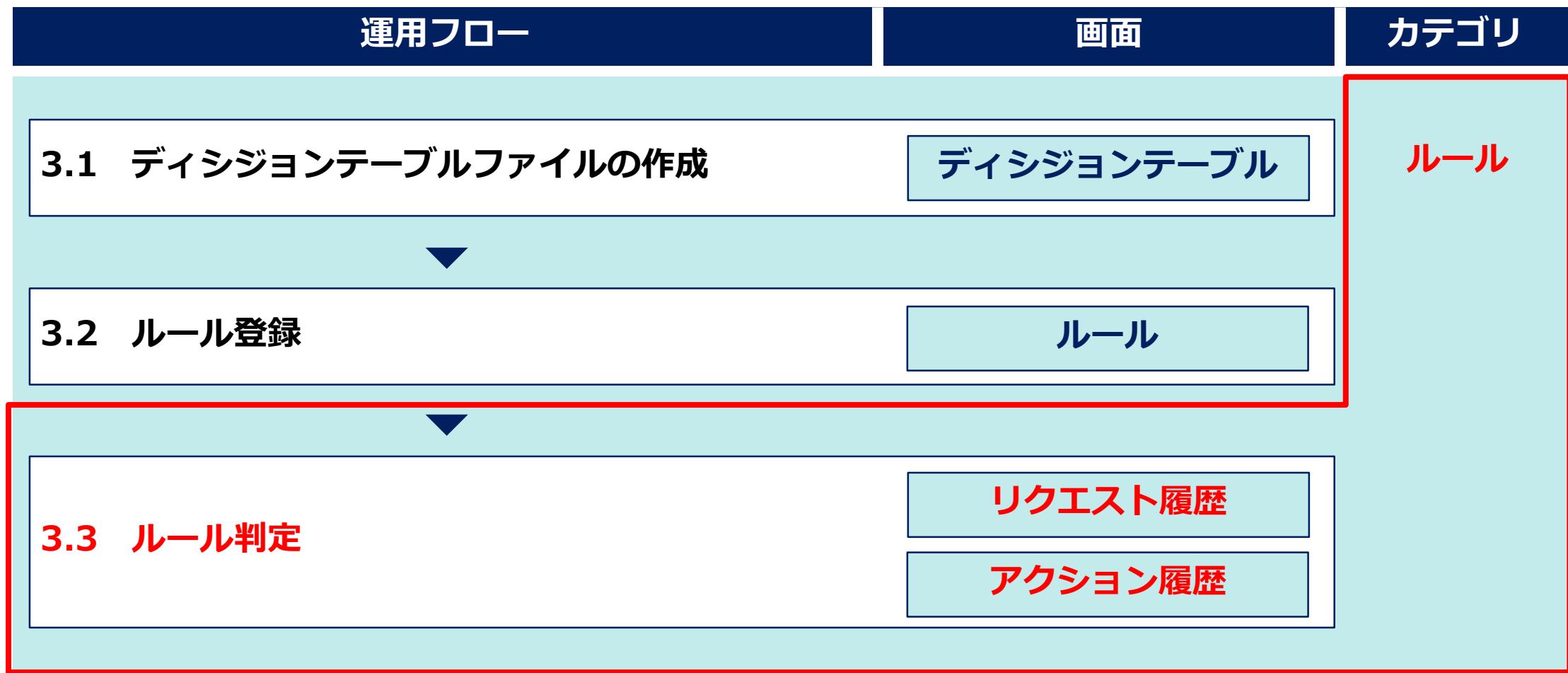
● プロダクション

- ・ステージング環境でルールに問題ないことが確認できた場合、ステータスを「プロダクション」へ変更可能
- ・プロダクション環境でルールがマッチングした場合、ディシジョンテーブルファイルのアクション部に記述した内容が実行される（Baseでは「ITAドライバ」連携しアクションを実行する）



3.3 ルール判定 (1/3)

以下、赤枠箇所の操作について説明



3.3 ルール判定 (2/3)

「リクエスト履歴」画面と「アクション履歴」画面

- 「ステージング」環境のルールに対しテストリクエストした場合
 - ・「リクエスト履歴」に履歴が追加される
- 「プロダクション適用」が済んでいるルールに対しリクエスト送信した場合
 - ・「リクエスト履歴」に履歴が追加される
 - ・リクエスト送信がルールにマッチングした場合は、「アクション履歴」にアクション実行について履歴が追加される



3.3 ルール判定 (3/3)

「アクション履歴」画面

- 「状態」欄のアイコン
 - 表示されるアイコンによって、アクションが実行されたのか、承認待ちなのか、エラーで停止しているのか等を確認可能
- 「操作」欄のボタン
 - 「詳細表示」ボタンおよび「ダウンロード」ボタンからアクションの詳細を確認することが可能
 - 「承認」ボタンでは保留中アクションの再開および停止を選択し実行が可能

*ディシジョンテーブルファイルの「アクション実行前パラメータ情報」を記述している場合、アクション実行を保留することが可能

D	E	F	G	H	I	J	K
ルール名 (必須)	アクション種別 (必須)	アクションパラメータ情報(必須) ※ダブルクオーテーションは使用不可	アクション実行前パラメータ情報(必須) ※ダブルクオーテーションは使用不可 ※不要の場合は「X」を定義	リトライ間隔(回)	リトライ間隔(回)	抑止間隔(回)	抑止回数(回)

(詳細はマニュアル <[利用手順マニュアル -アクション履歴編-](#)> を参照)



Exastro 